

今月の葛飾組織現勢

2011年12月1日現在	5085人
加 入	4人
転 入	7人
脱 退	139人
転 出	0人
2012年1月1日現在	4957人



東京土建一般労働組合

葛 飾 支 部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
 電 話 (5698) 1 2 6 1
 F A X (5698) 1 2 6 2
 発行人 細 貝 文 洋

青戸分会 小林啓一さん(タイル工)

葛西ばやし(指定無形文化財)とともに携わって37年
面も自らが作り、博物館の神楽面の作成にも参加

葛飾区の葛西囃子保存会は昭和28年に東京都無形文化財の指定を受けました。葛西ばやし、その歴史は古く、享保年間(約300年位前)に香取明神(現・東金町の葛西神社)の神官によって考案されたとされています。現在、東京都及びその周辺の祭り囃子の祖とされています。

その保存会に携わってきた一人が、青戸分会の小林啓一さん(62歳)です。本職は、タイル工、18歳の時から父と一緒に働き始めて現在に至ります。



初めて啓一さんの面をつけて舞う娘の順子さん(左)

保存会入会で
幸子さんと出会う

葛西ばやしとの出会いは、25歳の時。戦争等のため途絶えていた葛西ばやしのある町会で復活させようとの話を聞き、参加をしたのがきっかけで、のちに保存会にも入会しました。この保存会で幸子さん(奥さん)とも出会うことになりました。

以後37年間、夫婦で(時にはお子さんと一緒に)葛西ばやしに携わっています。

神楽面だけでなく
能面も作成

啓一さんは葛西ばやしの演奏だけではなく、神楽の舞に使う面の作成も手掛けています。最初は、※神楽面を興味本位で作成しはじめたこときっかけでしたが、30歳頃に本格的に習いたいと※能面教室に通い始めました。(10年間)「面作りは、最初に木を彫り、胡粉という具を粉にしたものを下地に塗ります。その上から色をつける作業ですが、仕事もしながらなので、1面仕上げるのに1ヵ月以上かかります。」

能面の作成もしているのですが、今は葛西ばやし保存会



葛西ばやしに携わって37年
小林さん夫妻

で使う神楽の面を作るのが多いですね。」と啓一さん。また、奥さんの幸子さんからは、「娘が10歳の時に初めて夫の作った面をつけて踊った時は幸せでした。」とお話いただき、幸せな家族の1ページも垣間見ることができました。

小林さんは佐倉にある歴史民俗博物館の展示用神楽面の作成にも参加したことがあるとのこと。

※神楽の面：ある程度自由に作れ、彫る人の個性が面に出ても良い

※能面：室町・桃山時代などの古面の写しが基本

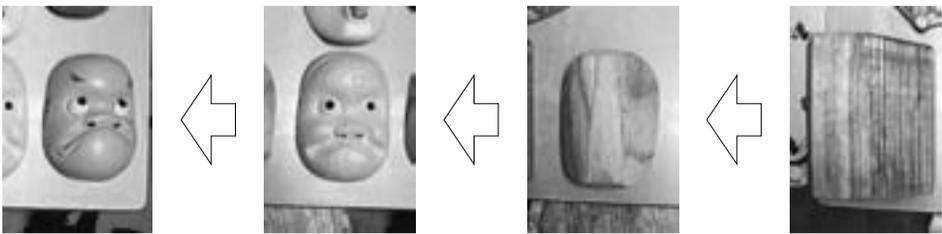
体がきく限り
携わりたい

体がきく限り葛西ばやしに携わっていたいと、今もご自身で作成した大黒様の面をかぶって舞うために、大黒様の舞を習い始めています。

葛西ばやし
年間の活動

左記のように活動をしています。お囃子に興味のある方は、日時を確認の上、出かけてみてはどうでしょうか。きっと小林さんの演奏も聞けることでしょう。

神楽面
作成の手順



- ①例大祭：9月15日前後
 - ②西の市：11月中の西の日
 - ③例会：毎月第3日曜日午後(要確認)
 - 【山本亭】
 - ④年に2・3回
- ※お神楽も上演あり。

寅さん

現政権政党が来年度の政府予算案を決めました。借金が増え、借金の3年連続です。

社会保障は冷たく切り捨てる一方で大企業・大資産家向けには巨額の減税を続け、軍事費を聖域扱いにし、大型公共事業の浪費を広げています。「生活が第一」という政権公約を完全に裏切っており、財界とアメリカの要求を忠実に実行しようとする予算案です。

生活必需品とともに、医療費も保険料も値上がりしています。それにもかかわらず、政府は高齢年金に連動して障害年金や児童扶養手当まで削減しようとしています。血も涙もないやり方です。

介護保険料も値上げされ、子育て予算も削られます。それでも経団連の米倉会長は社会保障削減が「不十分」とする残輪を発表し、社会保障削減と消費税増税の「一体改革」の推進を求めました。

6月に決めた「一体改革」成案の社会保障改悪の一部を盛り込んだ政府予算案は「一体改革」への一歩を踏み出す予算案です。それと同時に、財界と政府みずからが、まだまだ予算の削減も財源も足りない」として「一体改革」の全面推進へと路線を固める予算案となっています。

こんな予算案を認めるわけにはいきません。

暮らしに軸足を置いた予算に抜本的に切り替えるよう求めて行くとともに、消費税の増税には断固反対をして行きます。



総勢8人で現場を訪問

旧赤坂プリンス 解体現場を訪問

【賃金・仕事対策部発】本部で11月12月に取り組んだ賃金アンケートの中で、「現場でアスベストが飛んでいる」との報告があったということ、12月26日午前、旧赤坂プリンスホテルの解体工事現場（元請・大成建設）に、全建

総連、都連、本部の担当書記、葛飾支部2人、総勢8人で訪問しました。この現場は、大成建設が「テコレップシステム工法」という最新の工法を用いて、解体をするという世界的にも関心の高い現場です。そのような現場でアスベストが

管理されていないということになれば、大問題です。大成建設の所長は、「世間的、社会的にも注目されている現場。アスベストもしっかり管理している。万一にも、問題はない。」と回答。除去の現場は見せられないが、工程や工法の説明と朝礼やラジオ体操をおこなっているフロアについて、見学して確認



解体工事中の赤坂プリンスホテル

見学確認で問題点がないと判明

現場でアスベストが飛んでいる!?

賃金アンケートで報告

させてもらうことが出来ました。関係各所（監督署・役所等）への届出も含め、言われたような問題はないようでした。組合は、これからも「大それた安心」ではなく、組合員の声をもとに現場の改善、監視をおこなっていきます。

2011年の1年間通して皆さんが取り組んできた組合員を増やす運動（拡大行動）は、昨年の1月1日現勢5383人の13%の700人を目標に、577人の拡大82%に成功しました。支部目標として立てた年間目標には届きませんでした。掘切・二葉・飯塚の5分会がそれぞれの年間目標を達成しました。

また、年間実増に対しては、1月1日付で4956人、マイナス426人でした。組合を取り巻く厳しい情勢の中でも、西新小岩・本田・飯塚の3分会が実増を果たしたことは大きな成果です。春の月間で達成できなかった悔しさをバネに、支部役員・各分会の奮闘から秋の月間では見事達成。改めて皆さんのご奮闘に感謝いたします。組合にとって拡大運動は重要な取り組みです。組織を大きくすることで、要求実現に向けた力も大きくなります。

世直し雷大行進（浅草） チンドン屋を先頭に 浅草寺周りをデモ行進 900人を超える参加者

12月11日（日）3年ぶりの開催となった世直し雷大行進（浅草）。東日本復興を支援し、くらしを守る庶民の草の根からの運動をしようと開催にいたりしました。（世直し雷大行進実行委員会が主催）900人を超える参加者で、花川戸公園で集会。その後、浅草寺の周りをデモ行進しました。葛飾支部からは社会保障対策部・賃金対策部・税金対策部から30人が参加。集会後のデモ行進では、先頭にチンドン屋。演奏をしながらのデモ行進は、注目は大きく、観光で訪れた外国人も思わず写真を撮ってしまっただのにぎやかさでした。



チンドン屋を先頭に雷大行進



福岡執行委員長

新しい年を迎え、新春の喜びを申し上げます。昨年は東日本大震災、福島原発事故と未曾有の災害が日本を襲い、私たちの仕事・生

活にも大きな影響を与え、不安な中、東北震災復興支援に多大な協力をいただき、改めて感謝申し上げます。また、拡大運動では、年間目標には届きませんでした。秋の月間では皆さんの活躍のもと見事超過達成をし、葛飾支部組合員の団結力を実感した月間でもありました。

私たちがいのちとくらしを守る取り組みでは、土建国保の補助金獲得に向けた運動で、みなさんのハガキ要請、国会行動、集会等で補助金獲得を322.2億円強と勝ち取りました。1年間のご奮闘に感謝申し上げます。支部執行部としても、今年を取り巻く環境は厳しいことが予想されます。建設産業・社会保障・アスベスト訴訟・

明るく楽しく元氣よくで 1年間をやり抜こう!!

葛飾支部執行委員長 福岡達咲

国保への補助が決定 現行水準を確保の見通し 財務省宛ハガキは11,778枚



皆さんから届いた財務省宛要請ハガキ

政府は12月24日の臨時閣議で、2012年度政府予算案を決定しました。国保組合に対する補助金は総額で322.3億円（対前年度比29.0億円減）となりました。※減額は、国保組合の被保険者数の減少などが主な理由。

これにより、私たちの建設国保は現行補助水準を確保する見通しとなりました。

建設国保の現行補助水準確保を求めため、葛飾支部の組合員と家族のみなさんには要請ハガキにご協力いただきました。夏には厚労省宛（11440枚）・秋には東京都宛（11675枚）。そして、先月・今月で取組んだ財務省宛の要請ハガキの数は、11778枚。その間に、予算要求集会を7月と11月に行ない、議員要請行動にも取り組んできました。こうした行動の結果が国保組合に対する補助金322.3億円の確保、建設国保の現行補助水準確保につながりました。

要求を実現できたのは皆さんのご協力あってこそです。ありがとうございました。

後継者対策主催ボウリング大会 強い奥戸の復活 6回目の優勝を飾る 個人優勝は、一人400ピン越えの市瀬さん



優勝した奥戸分会
(左から米山さん・小泉さん・阿久津さん・坂本さん・永堀さん)



個人優勝の市瀬さん

15チーム参加で盛り上がる
次回は全分会が参加しよう

12月11日(日)立石のイーグルボウルで、後継者対策部主催のボウリング大会を開催しました。
東京土建全体で葛飾支部は優勝の常連だったので、その本部大会自体が前回で終わってしまったため、今回は

- 1位：市瀬隆さん(柴又) 402ピン
- 2位：佐々木寿治さん(北水元) 368ピン
- 3位：小泉昭二さん(奥戸) 357ピン

支部の独自開催となりました。大会には15チームが出場。強い奥戸分会の復活を目的に。1612ピンとダントツで、支部で6回目の優勝を飾りました。
個人賞には、市瀬隆さん(柴又)が402ピンと群を抜き、一人400ピン越えを達成し個人優勝に。
大会は大変盛り上がり、次回は全分会の参加でさらに盛り上げたいと後継者対策部として企画中です。
《団体戦》
○1位：奥戸分会 1612ピン
○2位：柴又分会 1572ピン
○3位：細田分会 1559ピン
《個人賞》
○1位：市瀬隆さん(柴又) 402ピン
○2位：佐々木寿治さん(北水元) 368ピン
○3位：小泉昭二さん(奥戸) 357ピン

社会保障を理由の消費税増税

増税、そして社会保障の削減

新小岩駅頭に19人が参加し、訴える



「消費税が上がると困る」と団体で署名

復興財源のもととなる臨時増税は、①所得税が25年間で

大企業には減税

12月22日(木)、定例の消費税増税反対駅頭宣伝行動を新小岩駅北口で開催。4団体19人の参加で行いました。(土建税対部からは11人の参加)
年末で駅を利用する人の足の早さを感じ、寒さも手伝ってなかなか立ち止まって話を聞く人はいませんでした。それでも中学生位の5・6人の団体が「消費税の増税は困る！」と署名に協力をしてくれるなど、17人から署名をいただくことができました。増税反対のポケットティッシュは、わずか30分足らずで1000個配り終わるなど、参加者の積極的な行動で増税反対の訴えをすることができました。寒い中、参加された皆さんお疲れさまでした。

税額の2・1%分、②個人住民税は均等割10000円を10年間と、実質恒久的な増税を強いることとなりました。
一方、法人税については、当初実効税率30%を25・5%(4・5%減)に引き下げたうえで、28・05%(2・55%増)に3年間の期限で引き上げるとしました。
この復興財源の臨時増税は、サラリーマンや自営業者に25年間で8・8兆円の増税になり、大企業には実質11・6兆円の減税になります。
また、消費税増税を、社会保障制度の「安定・強化」につなげるとしながら、年金支給開始年齢の引き上げや、医療費の自己負担引き上げ、保育への民間参入促進など、国民負担を増加させながら、社会保障給付は削減するという動きも無視できません。
そもそも消費税は、所得の低い人ほど負担が重い税制で、社会的に弱い立場の人や、被災者の生活再建に大きな負担を強いるものです。

確定申告の準備は大丈夫？ 実務学習会を開催します

1月30日(月)支部会館



確定申告の季節がやってきました。確定申告の準備は大丈夫ですか？
正しい知識でしっかりと「節税」みんなが理解できる学習会を開催します。みなさんのご参加お待ちしております。
日時：1月30日(月)夜7時半
場所：葛飾支部会館3階大会議室
講師：井澤本部税金担当 執

税金の個別相談

2月20日(月)～3月9日(金)
午前10時～午後4時(土日除く)
【持参するもの】
昨年申告した控え・平成23年度の収支のわかるもの・各種所得控除証明書・印鑑



12月4日の集団健診

日時：H24年2月5日(日) 朝8時半～11時半
場所：テクノプラザかつしか
締切：H24年1月31日(火)
定員：200名(先着)
申込：FAX(支部へ電話でも対応)
※「土建健診メリット」は、じん肺専門医の「再読影」の職業病対策が含まれています。

今年度最後の募集

テクノ集団健診は2月5日

今年度の健診は、もう終わりましたか。
受診券のある組合員・家族の方は、心電図・胸部レントゲン検査など30項目以上の充実した健診が無料で受けられます。
左記の日程で今年度最後の集団健診を受け付けています。先着順のため、早めにお申し込みください。
日時：H24年2月5日(日) 朝8時半～11時半
場所：テクノプラザかつしか
締切：H24年1月31日(火)
定員：200名(先着)
申込：FAX(支部へ電話でも対応)
※「土建健診メリット」は、じん肺専門医の「再読影」の職業病対策が含まれています。



快晴の下、餅つきできました（搗くのは川村さん親子）



景品も当たって大喜び

幸田分会で餅つき大会を開催

景品も準備し子どもも楽しんだ よいしょ！よいしょ！よいしょ！

【幸田・教宣・伊藤兼夫】よいしょ。よいしょ。威勢のいい掛け声と共に白の音が響きわたる。

12月18日（日）11時から幸田分会センターで行われた数年振りの分会餅つき大会。きな粉餅、餡子餅、雑煮。搗きたての餅が次々と来場者の胃袋へ。

お天気に恵まれ、少し寒かったが大勢の組合員と家族で賑やかに。抽選会も開催し、景品が当たった子どもはニコニコ。

会場となった分会センター（土屋建設資材置き場）は分会活動の拠点。拡大行動もここから。

準備は、秋の住宅まつりと並行しながら進め、12月に入って忙しくなる。もち米をはじめ食材や景品の用意。臼や蒸籠などの手配。分会役員が中心となって準備を進めてきました。参加されたみなさんお疲れ様でした。

辰年生まれが3代の澤井さん一家（堀切分会） 親から息子へバトンタッチ

堀切分会に所属する（株）澤井工務店の澤井さんは、常務の辰守さん（47歳）をはじめ、母親の和子さん（71歳）、娘の由貴さん（24歳）と3代が辰年生まれ。忙しい中時間を作っていただき辰守さん、和子さんの2人からお話を聞くことができました。



左から辰守さん・和子さん

辰守さんは、最初はゼネコンに就職して6年間在籍。その後親元に戻り、社長の一夫さんの下で（株）澤井工務店の常務として、その経験を生かし、活躍しています。

「ゼネコンで経験したこととは、ギャップの差はありますが、活かせる場面もあるんです。例えば、堀切での地下工事です。」と。

「この地域での地下工事は水が出てできないことが常識でした。」

いざ地下工事を受けた際は怖かったです。それでもゼネコンで地下工事の経験があったことで、工事を受けることができました。」と、実際に経験を生かした体験談をお話いただきました。

今年についての話におよぶと母親の和子さんから「社長と話をし、今年（辰年）は、社長を継いでほしいと考えているんです。今の社長が築いてきたこの会社を、息子なりに違った方針でやってもらいたいと考えているの。」と辰守さんもビックリの発言が。それを聞いた辰守さんは、今年社長になる上での抱負と少し悩みながらも、

「仕事をやる上で当たり前かも知れませんが、信頼関係を大切にすること、出会いを大切にすること。大変な時代ですから、基本であることを忘れないで、地に足を固めていきたいです。」と力強く抱負を語っていただきました。

大きな絆で結ばれた親子の間で、親から息子へのバトンタッチの瞬間に出会えたインタビューでした。



梅松辰雄さん

梅松辰雄さん（新宿） 今年も社会の役に立つ活動を 昨年は石巻へボランティア活動

昭和55年に組合加入し、組合活動に携わって30年。新宿分会の梅松辰雄さんは、今年72歳になる年男です。新宿分会で分会長・書記長と分会の重役を20年以上務めてきました。

18歳で長野から上京。その時、奥さんのとし子さんとの出会い、24歳で結婚。そして家庭・仕事・組合活動・趣味と様々な方面で活躍してきました。そんな梅松さんに組合との関わりについてお話しいただきました。

「入った当時は、民商の高砂支部の理事をしていたんです。役職には就かない条件で組合にも入ったんですが、やることが多かったです。」と夫婦円満な生活の一部もお聞きすることもできました。

さらに昨年は、東日本大地震の復興のために石巻へボランティア活動をするなど、誰かの役に立ちたいという気持ちも人一倍強い人でもあります。「今年も趣味を続ける一方で、やはり社会の役に立つ活動もしていきたいです。」と、責任感が強い梅松さんならではの話をさせていただきました。

りだすと中心になってしまふ。妻にも文句を言われもしました。それでも組合活動を色々やってきたのは責任感のため。誰かが率先してやらないと成功しないんです。

活動の考えを色々支部に対して発言してきました。発言に支部が応えて動いた時は、嬉しかったです。」と。

今も組合活動はもちろん、趣味でもダンスやソフトボールを積極的にこなす生活を送っています。「妻の仕事が休みの時は一緒にダンスに行くんです。」と夫婦円満な生活の一部もお聞きすることもできました。

機関紙コンクール 星谷さん編集の『奥戸』が特選入選



特選入選紙の『奥戸』分会新聞

東京土建本部主催の機関紙コンクール。本部教宣部・通信員として登録した各支部の教宣部員による投票によって入選紙が決定します。その投票が11月13日（日）、本会館で行われました。

葛飾支部からは11分会と主婦の会新聞をコンクールに応募。その結果、奥戸分会の『奥戸』分会新聞（編集・星谷聡

さん）が《特選入選》に選ばれました。おめでとうございます。

『奥戸』分会新聞は、毎年入選する東京土建を代表する分会新聞。他の分会新聞も奥戸に続けと、入選を狙いましたが、入賞には至りませんでした。

来年こそはと講師に星谷さんをむかえ、今月末に分会新聞作り学習会を開催する予定です。

組合員消息

教育ローン

合格発表前でもご相談が可能です。お気軽にお電話ください。

10年以内でお借入れの方	団体会員の場合 年1.7%	個人会員の場合 年2.2%
10年を超えてお借入れの方	団体会員の場合 年2.2%	個人会員の場合 年2.7%

最高1,000万円
最長15年
固定金利型

【団体会員とは】中央労働会館に加入している以下の団体員になります。

中央労働会館 建設労働組合 建設労働組合連合会 建設労働組合連合会連合会 建設労働組合連合会連合会 建設労働組合連合会連合会

※金利変動により、金利は変更となる場合がございます。※実際の借入利率は、お申込み時と異なる場合がございます。

お問い合わせ先：中央支店 TEL:03-5882-8121 FAX:03-5882-7873 担当：鈴木(祝) 営業相談係(東京事務所)
平塚ローンセンター TEL:0473-82006 (平日10時～18時、土日10時～15時、年末年始は休業となります。)